

令和2年1月8日
国立大学法人 千葉大学

「子どもみんなプロジェクト」報告会を開催

こころの発達の視点から子どもと先生を支える5年間の取り組み成果を報告

千葉大学は、平成27年から文部科学省委託事業「子どもみんなプロジェクト」に参画し、子どもたちのこころの発達の視点から、いじめや不登校などの問題に取り組んできました。この度、本プロジェクトの5年間の活動報告会を亥鼻キャンパスで開催しますので、ぜひ取材にいらしてください。

テーマ：すべての子どもたちの幸せのために、私たちは何をすべきなのか？

～教師と研究者が一緒になって考える、子どもたちみんなの幸せの方程式～

日時：令和2年2月20日（木）14:00～17:00（開場13:30）

会場：千葉大学医学部 めのはな記念講堂

プログラム（予定）：

- 子どもの発達リスクへのアプローチ（弘前大学）
- 勇者の旅プログラムの効果とその実践（千葉大学）
- 学校風土へのアプローチ

（浜松医科大学・子どもの発達科学研究所）

プラットフォームの可能性（子どもみんなプロジェクト事務局）

※入場無料でどなたでも参加できますが、事前にホームページの申し込みフォーム（<http://u0u0.net/hLjW>）よりお申込みください。

※取材のお申し込みについては、下記お問い合わせ欄をご覧ください。

■子どもみんなプロジェクトとは

いじめ、暴力、不登校など、子どもたちの周りに起こる様々な問題を、科学的な方法により解決することを目的とし、平成27年度に開始しました。10大学からなるコンソーシアムが、国や教育現場と連携し合って取り組みを進め、成果を教育現場での実践や研修などで全国に広める活動を行っています。千葉大学では子どものこころの発達研究センターが参画し、認知行動療法を提供できる人材養成に向けた研究や、認知行動療法の効果を高めるための脳科学研究、学校での発達段階に応じたメンタルヘルス増進を支援する教育研究を行っています。

<http://www.kodomo-minna.jp/>

■千葉大学の取り組み～勇者の旅プログラム～

『勇者の旅』は、小学校高学年（～中学生）児童を対象とする予防教育プログラムで、認知行動療法の考え方に基づいて構成されています。子ども達は各自がワークブックに書き込みをしながら、自分自身の不安の問題を解決する方法を考えたり、実際に行動したりすることを通して、不安への対処力を身につけていきます。

<https://www.cocoro.chiba-u.jp/yousha/index.html>



ストーリー仕立てになっている
「勇者の旅」ワークブック

本件に関する取材のお問い合わせ

子どもの発達科学研究所内 子どもみんなプロジェクト事務局：和久田学、中里匡志

電話・FAX：053-456-0575 E-mail：toiawase@kodomo-minna.jp

※取材を希望される方は、令和2年2月14日（金曜日）までに、上記連絡先へEメールにて、お名前、所属機関、電話番号、撮影希望の有無を明記の上、お申し込みください。

※入館の際は、社名入り腕章を御携帯ください。なお、撮影（テレビカメラによる撮影を含む。）については、進行の妨げにならないよう、「子どもみんなプロジェクト」事務局に従ってください。



全ての子どもたちの幸せのために、 私たちは何をすべきなのか？

教師と研究者が一緒になって考える、
子どもたちみんなの幸せの方程式

日時：令和2年2月20日（木） 午後1時半開場
午後2時開会

場所：千葉大学あのはな記念講堂
（千葉市中央区亥鼻1-8-1）

どなたでも参加できますが、事前の申し込みが必要です。

プログラム（予定）

【プロジェクト報告】

子どもの発達リスクへのアプローチ：弘前大学

勇者の旅プログラムの効果とその実践：千葉大学

学校風土へのアプローチ：浜松医科大学

子どもの発達科学研究所

プラットフォームの可能性：子どもみんな事務局

【総括講演】子どもたちの未来のために 他

千葉大学 亥鼻キャンパス内 地図



アクセス：

JR千葉駅、京成千葉駅到着後、JR千葉駅東口正面7番のバス乗り場から「千葉大学病院」行きまたは「南矢作」行きバスに乗り、「千葉大医学部入口」で下車。約15分。

プログラム詳細

子どもの発達リスクへのアプローチ：弘前大学大学院医学研究科附属子どものこころの発達研究センター、弘前市教育委員会
いじめ、不登校、子どものメンタルヘルスの問題のリスクを高める因子とは何でしょうか？ 弘前大学では学校現場におけるコホート研究を行うことにより、こうした問題を予測する因子を解明すると共に、その情報を学校現場でどのように活かすのかについて検討してきました。

勇者の旅プログラムの効果とその実践：千葉大学子どものこころの発達教育研究センター、柏市教育委員会
勇者の旅プログラムは、認知行動療法に基づく不安の予防教育プログラムです。千葉大学では、この勇者の旅プログラムを学校現場で展開するために、教師向け研修会を開催すると共に、その効果の測定を行いました。

学校風土へのアプローチ：浜松医科大学子どものこころの発達研究センター、(公社)子どもの発達科学研究所、磐田市教育委員会
いじめ、子どもの暴力、不登校などを予防するために、学校風土へのアプローチが欠かせません。大阪大学および浜松医科大学の研究グループでは、学校風土を向上させるための方法、学校風土を科学的に正確に計測する尺度の開発などを行いました。

プラットフォームの可能性：子どもみんなプロジェクト事務局

子どもみんなプロジェクトの目的は、研究者と教育現場をつなげるプラットフォームを作ることです。つまり教育現場の課題について、研究者と実践者が協働する仕組み作りと言えます。これまでのプロジェクトの実践から、プラットフォームの在り方とその可能性について探ります。

子どもみんなプロジェクトとは？

不登校、いじめなど、子どもの問題を、こころの発達の視点から解決することを目的とした文部科学省委託事業として、平成27年度よりスタートしました。子どもの発達と教育についての調査、研究が、これまで5年間にわたって進められてきました。

子どものこころ発達のしくみや科学的根拠に基づいた教育現場でも利用可能な支援の方法についてなど、学校等の教育現場と大学等の研究者がお互いに連携し合い、取り組みが進められ、その取り組み成果について全国に広めるために活動を進めてきました。

これまでに各地でのシンポジウム、講演会との開催を始め、大学と各地の教育委員会が連携して、以下のような取り組みを行ってきました。

- ・子どものこころの発達に関する調査、研究
- ・「勇者の旅」プログラムの学校現場での実践、研究と指導者養成研修
- ・学校風土の調査、研究や学校現場への支援、研修
- ・脳科学に基づいた教師基本研修シリーズ動画の作成

10大学コンソーシアムと連携教育委員会



青森県教育委員会 千葉県教育委員会 千葉市教育委員会 柏市教育委員会
館山市教育委員会 静岡県教育委員会 浜松市教育委員会 磐田市教育委員会
大府市教育委員会 石川県教育委員会 福井県教育委員会 大阪府教育委員会
池田市教育委員会 兵庫県教育委員会 西宮市教育委員会 鳥取県教育委員会

メッセージ

子どもみんなプロジェクトは、子どもの暴力、いじめ、不登校など、子どもの情動発達の課題について、研究者と教育現場の先生たちが協力して解決に導こうとするものです。

今回の報告会では、その5年間の成果として、例えば子どもの発達リスクを高める因子とは何か、そうした子どもの発達リスクを減らす保護因子である学校風土とは何か、学校風土を改善する方法は何か、子どもの不安を予防するにはどうしたらよいか、など、科学的な研究によってわかったことを発表します。さらには、こうした科学的研究成果を、連携教育委員会との協働のもと、学校現場で活かすにはどうしたらよいか、実際にやってみた結果、どのようなことが起こったのか、などについて報告します。

子どもみんなプロジェクトは、発達障害や家庭的問題を持つ子どもなど、一握りのリスクのある子どものみをターゲットにしたものではありません。そうした子どもを含めた、全ての子どもたちを対象に、子どもの発達に関係する全ての研究者、全ての学校の先生たち、さらには全ての大人たちが当事者となって、科学的な方法を教育や子育ての現場に積極的に使っていこうというものです。

子どもたちの発達を守ることは、私たち未来を明るくすることです。皆様の参加をお待ちしています。

子どもみんなプロジェクト・企画運営協議会 基幹校代表 片山 泰一
(大阪大学大学院 連合小児発達学研究所教授)



子どもみんなプロジェクト 報告会の申し込みは、
ホームページの報告会申し込みフォーム (<http://u0u0.net/hLjW>)

または、右のQRコードよりお願いいたします。(電話、FAXでの申し込みは受け付けておりません。)

その他、ご質問等がございましたら toiawase@kodomo-minna.jpまでご連絡ください。



申し込みQRコード